



OKAYA

岡谷ロータリークラブ

- 会長／宮坂宥洪
- 副会長／北村正春・牛山幸一
- 幹事／林 裕彦
- 会報・雑誌・広報委員長／山岡晴男

- 事務所／岡谷市中央町 1-4-12 ホテル岡谷 3F
Tel/0266-22-6939・Fax/0266-23-6939・URL:<http://okayarc.org>・E-mail:okayarc@amber.plala.or.jp
- 例会／毎週火曜日 PM12:30 ホテル岡谷

第 2454 回例会 2009 年（平成 21 年）11 月 24 日（火）

司 会：林 靖高
点 鐘：宮坂宥洪

斉 唱：我等の生業
ラッキーNo. : No. 4 矢島 實

会長挨拶

本日のお客様は、ロータリー財団国際親善奨学生の有賀礼香さんです。有賀さんには先般の地区大会と 50 周年記念式典にも出席していただいておりますのですでにお顔なじみだと思いますが、のちほど白鳥R財団委員長より改めてご紹介をさせていただきます。有賀さんには卓話をさせていただく予定です。

今月はロータリー財団月間ということで有賀さんをお招きしているわけですが、ご承知のとおり、ロータリー財団には教育的プログラム、人道的プログラム、ポリオプラスプログラムという 3 つの柱があります。このうちの教育的プログラムにおける奨学生制度は民間の中では世界最大規模のもので、財団奨学制度が自国から他国に送り出すものであるのに対して、日本独自の米山奨学制度は他国から日本に迎え入れるものです。

先週の李さんの卓話でも紹介されていたように、母国に戻ってから各界において活躍されている米山奨学生が学友会とか米山会を結成し、強力なネットワークづくりがされています。彼らが日本と日本のロータリーに対し感謝の念を抱き続け、国際親善に大きく寄与されていることはすばらしいことです。

今期は 50 周年の記念事業の一環として、会員の皆様に米山と財団の両方あるいがいずれかに多額の寄付をしていただき本当にありがとうございました。この機会にロータリーの奨学金制度の意義について一層のご理解をたまわりますようお願いいたします。

幹事報告

- ・ 次週例会前 12 時より理事会を開催します。よろしくお願ひします。
- ・ 12 月のロータリーレート 1 \$ 90 円。
- ・ 先日の会長・幹事会の席上で諏訪ローターアクトクラブ(RAC)の話が出されました。RACは現在 6 名で活動しており、会を維持するだけで精一杯と言うことです。是非、新会員の紹介をお願いしたいとの事です。18-30 歳までの男女、年会費 3 万円、例会第 1.第 3 木曜 19:00 より食事、19:30 点鐘、会場ぬのはんです。よろしくお願ひします。

委員会報告

SAA委員会 12月より第一例会に国歌、Rソングの演奏を下諏訪の小口さんをお願いしました。諏訪湖RC、茅野RCでも活躍されておられます。

50周年実行委員長 お詫びを申し上げます。11月末に記念誌発刊の予定でしたが、遅れております。きちんとしたものにしたいと言うことで当初の予定より100頁ほど増える事になり努力はしておりますが12月15日まで延びることになりました。それに伴い会計も遅れます。ご理解の程、よろしくお願いいたします。

親睦委員会 今年の親睦家族忘年会は12/8・6時点鐘にて開催致します。50周年の慰労も兼ねて行いたいと思いますので、是非、ご家族お揃いでご参加いただきますようお願いいたします。また、チャリティー協力金を今年度も集めさせていただきますので、ご協力よろしくお願いいたします。

卓話 「日本における難民問題」

ロータリー財団奨学生
有賀 礼香 様



あまり広く知られてはいませんが、日本には多くの難民が庇護を求めてやってきました。2008年は1,599人が新たに難民申請しました。しかし、同年に難民として認定されたのはたったの57人でした。難民の定義は「人種、宗教、国籍もしくは特定の社会集団の構成員であること、または、政治的意見を理由に迫害を受けるおそれがあるため、国籍国の外にいる者で、国籍国の保護を受けられないか、または、受けることを望まない者」(難民条約 1条 A-2)です。つまり、難民とは母国に帰されると迫害を受けるおそれのある人のことをいいます。日本は難民条約に1981年に加入し、翌82年に制定した「出入国管理および難民認定法」にもとづいて難民認定手続を実行しています。しかし難民申請者は認定を受けるまでにさまざまな困難に直面します。

母国の政府からの保護を受けられない難民は、パスポートやビザを取得しにくい状況にあるため、正規のパスポートやビザを持たずに日本へやってくる場合があります。そのため、不法入国者として収容されてしまうことがあるのです。また、ビザが切れてしまい超過滞在を理由に収容されている難民も多くいます。自らの命を守るために日本へやってきたにもかかわらず、彼らは犯罪者のような待遇を受けているのです。このような状況に鑑みて、「二重の迫害」が行われていると危惧されています。不安定な法的地位に加え、彼らの生活もまた、厳しい現状にあります。基本的に働くことはできず、十分な生活保護を受けることもできません。母国で負った心の傷に加え、言葉も通じない日本での生活での過度のストレスが重くのしかかります。さらに、難民認定手続は平均2年、長いときには10年近くにもおよびます。

このような現状を、私は難民支援協会というNPO法人でのインターンを通じて知ることができました。インターンの業務としては主に難民申請のための書類の準備のサポートをしており、難民の方と接する機会も多くあります。時には彼らの不満をぶつけられることもありますが、その分余計に彼らの置かれた立場を思い知らされます。私は、海外の大学院で

国際人権法を学ぶことにより、日本における難民問題の改善になんらかの方法で貢献したいと考えております。日本は先進国ですが、経済面だけでなく、人々の人権の実現に関しても先進国であると言われるような国にしていきたいです。最後に、私の留学を可能にしてくれたロータリーのみなさんに改めて感謝の意を表明致します。

ニコニコボックス

井上保子・今井 紅・牛山幸一・太田博久・大橋正明・小口哲男・小口成人・小口泰史・尾関秀雄・笠原祥一・笠原新太郎・北澤洋之介・小出 篤・小松正二・佐藤有司・白鳥修次・高木昭好・武井利夫・塚田昌滋・中嶋孝一・林 裕彦・林 靖高・原 史郎・平沢清文・藤森睦美・宮坂宥洪・宮坂宥澄・宮澤由己・矢崎宏明・矢島 實・山岡晴男・山岡正邦・山岸邦太郎・山崎典夫・中村文明 ロータリー財団奨学生 有賀礼香さんを歓迎します。

牛山幸一・大橋正明・小口成人・小口泰史・尾関秀雄・笠原祥一・濱 俊弘・林 裕彦・林 靖高・矢崎宏明・矢島 實 地区大会の写真ありがとうございました。

山崎典夫 創業記念月です。

出席報告

会員数49名、出席者39名、出席率79.59%、前々回訂正95.92%

2009-2010 年度 R I テーマ

ロータリーの未来は
あなたの手の中に

THE FUTURE OF ROTARY
IS IN YOUR HANDS

